

令和7年度「子供司書」養成講座全体研修

■日 時:令和7年7月19日(土) 10:00~16:00

■場 所:庄原市田園文化センター

■対象者:「子供司書」養成講座受講者16名(庄原市内小学校第5・6学年希望者)

【目的】児童の中に読書活動を推進するリーダーを育成し、育成したリーダーが学校や地域で読書活動の楽しさを広めていくことで、児童の読書活動の充実を図るとともに、言語活動の充実により学力向上を図る。

講話「『子供司書』になろう！」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 延近 恵



【講話の概要】

- 「子供司書」は、子供の読書活動を進めるリーダーである。周りの友達に読書を好きになってもらうよう、読書のよさや楽しさを伝えることが大切である。
- 「子供司書」に認証されるために、これから地域の図書館での実地研修、学校での活動を行っていく。
- 読み語り、ポップ作り、図書館の掲示物やコーナーを工夫することは必ず行い、工夫した活動をしてほしい。

講話「『日本十進分類法』を学ぼう！」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 延近 恵



【講話の概要】

- 「日本十進分類法」は本を種類ごとに分類したもので、これにより本の整理や検索を行うことができる。
- 本の内容によって、分類が決まる。そのため、同じようなタイトルでも分類番号が異なることがある。
- 庄原市立図書館の本や持参した本などが、どの分類になるか、実際にラベルや奥付を見て確かめた。

講話・演習 「読み語りのプロから学ぼう！」

読書ボランティア「おはなしのいずみ」 代表 立花 有佐



【講話・演習の概要】

- 絵本の読み語りは、絵を見せること、絵を伝えることが大切である。
- 読み語りをする際には、本の選書がとても重要である。季節や相手、場の状況等を考慮して本を選ぼう。
- 本を選んだらしっかりと練習しよう。なるべく短い本を選び、どのような読み方をしたら聞き手に伝わるかを考え、工夫しよう。
- 絵本の読み語りをするときは、ゆっくり読もう。本を持つ時や本をめくる時に、手で絵を隠さないように。

演習 『『おすすめの本のポップを作ろう』大作戦！』

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 延近 恵



【演習の概要】

- よりよいポップを作るポイントは6つ。
- ①タイトルや作者名をはっきり分かりやすく書く。
- ②内容を少しだけ紹介する。
- ③キャッチコピーを書く。
- ④輝く言葉を引用する。
- ⑤デザインやイラストを工夫する。
- ⑥どうおもしろいかを書く。

この6つのポイントを生かしながら、自分の紹介したい本のポップを作成した。

参加した児童の感想

- ・日本十進分類法をしっかりと覚え、図書室に本がバラバラに置かれていたらきれいに整頓しようと思った。
- ・ポップを描くコツが分かったので、いろいろな本のポップを作ってみたい。
- ・読み語りの時には、自分が見やすいように持つのではなく、見ている人に分かりやすくするよう工夫することが大切だと分かった。
- ・読み語りでは、「感情をこめること・声の強弱をつけること」をアドバイスしてもらったので、できるようにがんばりたい。